

「四方よしモデル」のネーミングとロゴマークについて

ネーミングに込めた意味

「四」の文字には、春夏秋冬の「四季」、東西南北の「四方」など、時間と空間の基本秩序を司る意味があります。

また、幸福のシンボルとしての「四つ葉のクローバー」、強打者の象徴「四番打者」など、幸せや強さを示す使い方があります。

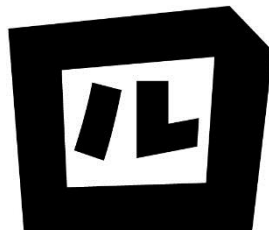
このネーミングは、遠い昔から将来に向けて、四條畷が益々発展、持続していくことを願い名付けたものであり、従来から親しんできた「なわて」ではなく、四條畷の「四」を使うことで、まちづくりに新しい風を吹かせたいとの気持ちを込めています。

ロゴマークに込めた意味

「四」の文字は、「口」と「ル」からできています。

四條畷市は、生駒山系と淀川に囲まれ、大阪と京都を結ぶ地域として、四季を通じて人々が集まり、暮らしを営んできた長い歴史があります。

ロゴマークを構成している「口」の部分は、囲まれている四條畷市域の様子を示し、「ル」は、市域を走ったり、跳んだり、喜んだりしながら、四條畷市からはみださんばかりに活発に活動している市民、市職員、事業者を表現しています。



**ShijoNawate
Brand**